



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月30日

上場会社名 株式会社 大光銀行
コード番号 8537 URL <http://www.taikobank.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 川合 昌一

問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部長 (氏名) 近藤 慎一

TEL 0258-36-4111

特定取引勘定設置の有無 無

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	20,275	22.9	3,327	3.3	2,204	2.2
2025年3月期第3四半期	16,488	3.4	3,220	2.2	2,155	20.1

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 6,711百万円 (—%) 2025年3月期第3四半期 △1,222百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	231.33	227.64
2025年3月期第3四半期	226.24	223.45

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	1,728,419	81,603	4.6
2025年3月期	1,678,812	75,522	4.4

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 80,832百万円 2025年3月期 74,806百万円

(注)「自己資本比率」は(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。
なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	30.00	—	35.00	65.00
2026年3月期	—	35.00	—		
2026年3月期(予想)				35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年 3月期の連結業績予想(2025年 4月 1日～2026年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,820	6.1	4,030	3.5	2,600	4.2	272.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	9,671,400 株	2025年3月期	9,671,400 株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	141,470 株	2025年3月期	141,379 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	9,530,001 株	2025年3月期3Q	9,527,428 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当行として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注記事項等につきましては、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は四半期決算短信に添付しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当四半期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当四半期の財政状態の概況	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 4
四半期連結損益計算書	P. 4
四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 6
(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)	P. 6
(会計方針の変更に関する注記)	P. 6
(会計上の見積りの変更に関する注記)	P. 6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	P. 6
(セグメント情報等の注記)	P. 6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 6
(継続企業の前提に関する注記)	P. 6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 6
3. 決算補足説明資料	P. 7
2026年3月期第3四半期決算説明資料	P. 7
(1) 損益状況（単体）	P. 7
(2) 金融再生法開示債権及びリスク管理債権	P. 8
(3) 自己資本比率（国内基準）	P. 9
(4) 有価証券の評価損益（単体）（連結）	P. 10
(5) 預金等、貸出金の残高（単体）	P. 10
(6) 預り資産（末残）の状況（単体）	P. 11

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当行グループの当第3四半期連結累計期間の連結経営成績につきましては、経常収益は、貸出金利息や有価証券利息配当金等の資金運用収益や役務取引等収益が増加したことなどにより、前年同四半期比37億87百万円増加の202億75百万円となりました。経常費用は、資金調達費用やその他業務費用が増加したことなどにより、前年同四半期比36億81百万円増加の169億48百万円となりました。

以上の結果、経常利益は、前年同四半期比1億7百万円増加の33億27百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期比49百万円増加の22億4百万円となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における連結財政状態につきましては、総資産は1兆7,284億19百万円（前年度末比496億7百万円増加）、純資産は816億3百万円（前年度末比60億81百万円増加）となりました。主要勘定につきましては、貸出金は1兆1,682億57百万円（前年度末比26億44百万円減少）、有価証券は3,326億17百万円（前年度末比103億53百万円減少）、預金等（預金＋譲渡性預金）は1兆5,196億63百万円（前年度末比503億78百万円増加）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月9日の「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

本業績予想は、現時点において入手可能な情報や合理的であると判断する一定の前提に基づき算出しておりますが、今後、状況の進展や事業の進捗を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

（1）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
現金預け金	127,108	195,070
金銭の信託	2,956	2,958
有価証券	342,970	332,617
貸出金	1,170,901	1,168,257
外国為替	2,136	2,184
その他資産	9,779	5,440
有形固定資産	14,491	14,699
無形固定資産	719	659
退職給付に係る資産	5,200	5,308
繰延税金資産	3,903	1,948
支払承諾見返	4,920	5,340
貸倒引当金	△6,275	△6,064
資産の部合計	1,678,812	1,728,419
負債の部		
預金	1,430,361	1,487,567
譲渡性預金	38,924	32,095
債券貸借取引受入担保金	28,747	34,580
借入金	88,100	78,900
外国為替	10	8
その他負債	9,935	6,213
賞与引当金	429	227
役員賞与引当金	15	20
睡眠預金払戻損失引当金	313	297
偶発損失引当金	142	187
再評価に係る繰延税金負債	1,389	1,378
支払承諾	4,920	5,340
負債の部合計	1,603,290	1,646,815
純資産の部		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	8,208	8,208
利益剰余金	59,071	60,631
自己株式	△294	△294
株主資本合計	76,985	78,545
その他有価証券評価差額金	△5,965	△1,442
土地再評価差額金	2,567	2,544
退職給付に係る調整累計額	1,219	1,184
その他の包括利益累計額合計	△2,178	2,286
新株予約権	173	211
非支配株主持分	541	559
純資産の部合計	75,522	81,603
負債及び純資産の部合計	1,678,812	1,728,419

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）
経常収益	16,488	20,275
資金運用収益	12,501	15,274
（うち貸出金利息）	9,197	11,325
（うち有価証券利息配当金）	2,991	3,325
役務取引等収益	2,660	2,755
その他業務収益	107	98
その他経常収益	1,218	2,146
経常費用	13,267	16,948
資金調達費用	655	2,387
（うち預金利息）	548	2,108
役務取引等費用	1,525	1,571
その他業務費用	397	1,155
営業経費	9,082	9,708
その他経常費用	1,606	2,125
経常利益	3,220	3,327
特別利益	54	4
固定資産処分益	54	4
特別損失	68	114
固定資産処分損	2	43
減損損失	66	71
税金等調整前四半期純利益	3,206	3,216
法人税、住民税及び事業税	906	1,087
法人税等調整額	121	△93
法人税等合計	1,027	993
四半期純利益	2,178	2,223
非支配株主に帰属する四半期純利益	23	18
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,155	2,204

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	2,178	2,223
その他の包括利益	△3,401	4,488
その他有価証券評価差額金	△3,387	4,523
退職給付に係る調整額	△13	△34
四半期包括利益	△1,222	6,711
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,245	6,692
非支配株主に係る四半期包括利益	23	18

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更）

該当事項はありません。

（会計方針の変更に関する注記）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

当行グループは、報告セグメントが銀行業のみであり、当行グループの業績における「その他」の重要性が乏しいため、記載を省略しております。なお、「その他」にはクレジットカード業務等が含まれております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	612百万円	629百万円

3. 決算補足説明資料

2026年3月期 第3四半期決算説明資料

（1）損益状況（単体）

●投資信託解約損益を除くコア業務純益は、経費が増加したものの、資金利益や役務取引等利益が増加したことなどにより、前年同四半期比3億92百万円増加の42億20百万円となりました。
●実質業務純益は、前年同四半期比2億92百万円減少の32億44百万円となりました。
●経常利益は、株式等関係損益の増加や実質与信関係費用の減少などにより、前年同四半期比1億40百万円増加の32億71百万円となりました。
●四半期純利益は、前年同四半期比68百万円増加の21億89百万円となりました。

（単位：百万円）

	2026年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期比	2025年3月期 第3四半期	（参考） 2026年3月期 通期予想
業務粗利益	12,825	354	12,471	
（コア業務粗利益）	(13,971)	(1,106)	(12,865)	
資金利益	12,901	1,063	11,838	
役務取引等利益	1,054	56	998	
その他業務利益	△1,131	△765	△366	
（うち国債等債券関係損益）	(△1,145)	(△751)	(△394)	
経費（除く臨時処理分）	9,580	645	8,935	
人件費	5,357	364	4,993	
物件費	3,584	182	3,402	
税金	638	99	539	
実質業務純益	3,244	△292	3,536	
（コア業務純益）	(4,390)	(460)	(3,930)	
（コア業務純益（除く投資信託解約損益））	(4,220)	(392)	(3,828)	
①一般貸倒引当金繰入額	—	166	△166	
業務純益	3,244	△458	3,702	
臨時損益	27	598	△571	
②うち不良債権処理額	497	△489	986	
③うち貸倒引当金戻入益	70	70	—	
④うち偶発損失引当金戻入益	—	—	—	
⑤うち償却債権取立益	55	△334	389	
うち株式等関係損益	336	299	37	
経常利益	3,271	140	3,131	3,850
特別損益	△110	△96	△14	
税引前四半期純利益	3,161	44	3,117	
法人税、住民税及び事業税	1,061	186	875	
法人税等調整額	△89	△209	120	
法人税等合計	971	△25	996	
四半期純利益（当期純利益）	2,189	68	2,121	2,510

（参考）

実質与信関係費用（①+②-③-④-⑤）	371	△59	430
---------------------	-----	-----	-----

- （注） 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 増減欄の計数は、表上の数値による計算結果を表示しております。
3. 2026年3月期の通期予想は、2025年5月9日に公表した数値であり変更はありません。
4. コア業務粗利益＝業務粗利益－国債等債券関係損益
5. コア業務純益＝業務純益－国債等債券関係損益＋一般貸倒引当金繰入額

（2）金融再生法開示債権及びリスク管理債権

- 金融再生法開示債権及びリスク管理債権は、単体・連結ともに前年同四半期末比11億円減少し、単体が267億円、連結が268億円となりました。
- 不良債権比率は、単体・連結ともに前年同四半期末比0.07ポイント低下し、単体・連結ともに2.26%となりました。

【単体】

（単位：億円）

（参考）（単位：億円）

	2025年12月末	2024年12月末	2025年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	34	36	36
危険債権	232	240	236
要管理債権	0	0	0
三月以上延滞債権	0	0	0
貸出条件緩和債権	0	0	0
小 計 (A)	267	278	273
正常債権	11,594	11,680	11,553
総与信残高 (B)	11,862	11,958	11,826
不良債権比率 (A) / (B)	2.26%	2.33%	2.31%

【連結】

（単位：億円）

（参考）（単位：億円）

	2025年12月末	2024年12月末	2025年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	35	37	37
危険債権	232	240	236
要管理債権	0	0	0
三月以上延滞債権	0	0	0
貸出条件緩和債権	0	0	0
小 計 (A)	268	279	274
正常債権	11,609	11,694	11,567
総与信残高 (B)	11,878	11,973	11,841
不良債権比率 (A) / (B)	2.26%	2.33%	2.32%

（3）自己資本比率（国内基準）

●2025年12月末の自己資本比率（国内基準）〔速報値〕は、単体が8.70%、連結が8.74%となりました。いずれも規制値（4%）を大きく上回り、十分な水準を維持しております。

【単体】

（単位：億円）

（参考）（単位：億円）

	2025年12月末 〔速報値〕	2024年12月末比	2024年12月末	2025年9月末
(1) 自己資本比率 (2)／(3)	8.70%	0.54%	8.16%	8.70%
(2) 自己資本 ①－②	768	18	750	761
コア資本に係る基礎項目 ①	797	19	778	790
コア資本に係る調整項目 ②	29	1	28	29
(3) リスク・アセット	8,826	△356	9,182	8,748
(4) 総所要自己資本額 (3)×4%	353	△14	367	349

【連結】

（単位：億円）

（参考）（単位：億円）

	2025年12月末 〔速報値〕	2024年12月末比	2024年12月末	2025年9月末
(1) 自己資本比率 (2)／(3)	8.74%	0.54%	8.20%	8.74%
(2) 自己資本 ①－②	774	19	755	767
コア資本に係る基礎項目 ①	815	27	788	808
コア資本に係る調整項目 ②	40	8	32	40
(3) リスク・アセット	8,851	△355	9,206	8,772
(4) 総所要自己資本額 (3)×4%	354	△14	368	350

（４）有価証券の評価損益（単体）（連結）

●有価証券全体の評価損益は単体・連結ともに、31億円の評価損となりました。

		(単位：億円)			(参考)	(単位：億円)		
		2025年12月末			2024年12月末			2025年9月末
		評価損益		評価損	評価損益		評価損	評価損益
			評価益			評価益		評価益
	満期保有目的の債券	△7	—	7	△3	0	3	△5
	その他有価証券	△23	137	160	△59	89	148	△27
	株式	105	105	0	73	73	0	97
	債券	△106	0	106	△49	0	49	△83
	その他	△22	31	54	△83	15	98	△41
	合計	△31	137	168	△62	89	151	△33
								125
								158

(注) 「評価損益」は、「満期保有目的の債券」については（四半期）貸借対照表計上額と時価の差額を計上し、「その他有価証券」については時価評価しておりますので（四半期）貸借対照表計上額と取得価額（又は償却原価）との差額を計上しております。

（５）預金等、貸出金の残高（単体）

- 預金等（預金＋譲渡性預金）の残高は、法人預金が増加したことなどにより、前年同四半期末比182億円増加し、1兆5,196億円になりました。
- 貸出金の残高は、個人向け貸出は増加したものの、地公体向け貸出が減少したことなどにより、前年同四半期末比76億円減少し、1兆1,686億円になりました。

		(単位：億円)		(参考)	(単位：億円)	
		2025年12月末	2024年12月末		2025年9月末	
預金等（末残）		15,196	15,014		14,951	
	うち法人	4,094	3,876		4,038	
	うち個人	10,118	10,111		9,963	
	うち新潟県内	13,515	13,437		13,437	
貸出金（末残）		11,686	11,762		11,645	
	うち中小企業向け	5,293	5,276		5,227	
	うち個人向け	3,915	3,838		3,877	
	うち新潟県内	7,612	7,692		7,591	

(注) 預金等＝預金＋譲渡性預金

(6) 預り資産(末残)の状況(単体)

●預り資産の残高は、投資信託や公共債が増加したことなどにより、全体では前年同四半期末比183億円増加し、1,974億円になりました。

	(単位：億円)		(参考) (単位：億円)
	2025年12月末	2024年12月末	2025年9月末
預り資産	1,974	1,791	1,915
投資信託	940	778	879
公共債	113	92	109
保険	919	920	927

以 上